

学生氷上選手権大会

市内三会場で熱戦を展開

十二月二十二日から四日間

五十四回目を迎える「日本学生氷上競技選手権大会」(インカレ)が、今月二十二日から二十五日まで、日光スケートセンター、細尾リンク、小山ゆうえんち日光電工リンクの三会場で行われます。

この大会は、例年一月初めに開かれていましたが、来年一月末に「第三十七回国民体育大会冬季大会」が日光で開かれるため十二月開催になったものです。十二月二十二日午前十時から、

総合会館で開会式を行ったあと競技に入り、四日間にわたる熱戦を繰り広げます。

競技は、日光スケートセンターでスピードスケート、細尾リンクでアイスホッケー、小山ゆうえんち日光電工リンクでアイスホッケーとフィギュア競技を行います。

この大会に参加する役員、選手は、約五十校から千人。市民の温かい心で選手を迎え、声援を送り、大会を盛りあげたいものです。

国体運営費に
100万円寄付

水野スポーツ振興会



▶スピードスケートの会場となるスケートセンターも十一月八日にオープン

不用品登録所を開設

ゆずりたい

ゆずってほしい

消費生活の合理化、省資源、省エネルギーに役立ててもらおうと、市では「不用品登録制度」を観光商工課内に開設しました。

この制度は、電気器具類、子供用品、家具調度品、文具類、スポーツ用品など、現在使っていない品物でまだ使えるものを、欲しが

っている人に紹介しようというものです。

登録の内容と方法は、不用品を譲りたい人、譲ってほしい人は、

- ①品名、型式
- ②購入年月、使用程度
- ③譲渡(受)希望価格
- ④連絡先(住所、氏名、電話番号)などを「不用品登録所」に申し込

スギ花粉症

来 年 大 発 生 の 恐 れ
三 五 月

「スギ花粉症」は、スギ花粉によるアレルギーが原因でおこる病気で、スギ花粉の飛散する時期(日光市では三月から五月)に、クシヤミ、鼻水などの鼻炎症状、目のかゆみや発赤などの結膜炎症状が

おこるものです。日光市は、日本で初めてスギ花粉症が発見されたところであり、また、スギ花粉の飛散量も非常に多い地域です。最近、スギ花粉症は増加する傾

向にあり、特にここ数年で患者数が急を増えています。

昭和五十五年、五十六年はスギの花粉量が少なかつたので、あまり強い症状を出す患者は少なかつたようですが、昭和五十六年夏の気候が、スギ花粉の生育に良い条件だったため、来年には、スギ花粉症の大発生が予想されます。(古河総合病院長 小泉一弘氏)

スケートセンター、細尾リンク

相次いでオープン

んでください。申し込みは、電話でも郵送でも結構です。不用品登録所では、申し込みのあった人を台帳に登録しておき、双方の希望条件がおおむね一致したときに連絡して紹介あつせんします。あつせん手数料は無料です。お気軽にご利用ください。

なお、この制度についての詳しいことは、市観光商工課商工係(五四一―一―一内線一六二)にお問い合わせください。

日光スケートセンターと細尾バイピングリンクがオープンし、ウインタースポーツの幕をあけました。

安良沢小学校の児童四人とともに、ティップカットを行い、待ちこがれていた約千人のスケーターが初滑りを楽しみました。

日光スケートセンターは、十一月八日午前九時、斎藤市長、福島支配人ら関係者がシーズン中の安全を祈願したあと、日光小学校、

清滝小学校の児童八十人が初滑りを楽しみました。